
2025年度「コンテンツ地方創生拠点」概要資料

コンテンツ観光振興型

地域で連携するコンテンツ

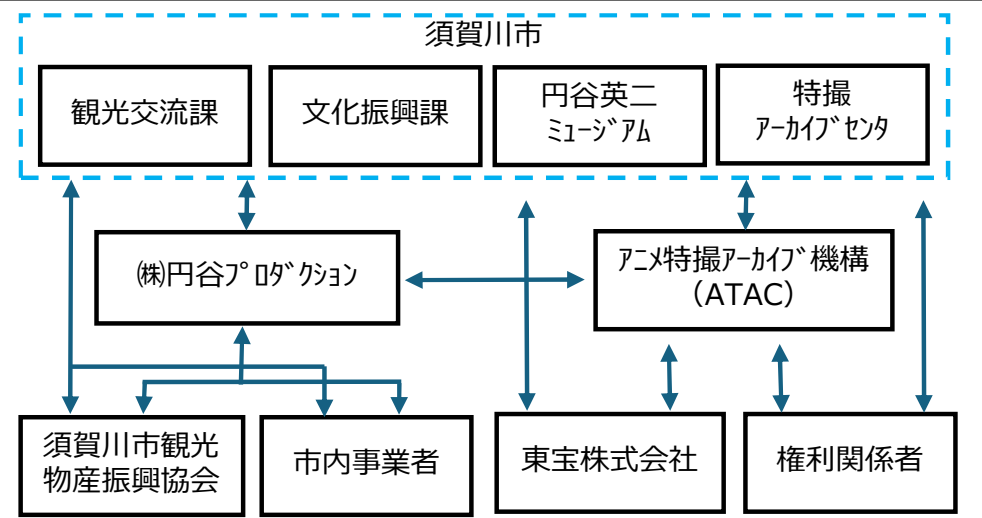
特撮

取組地域

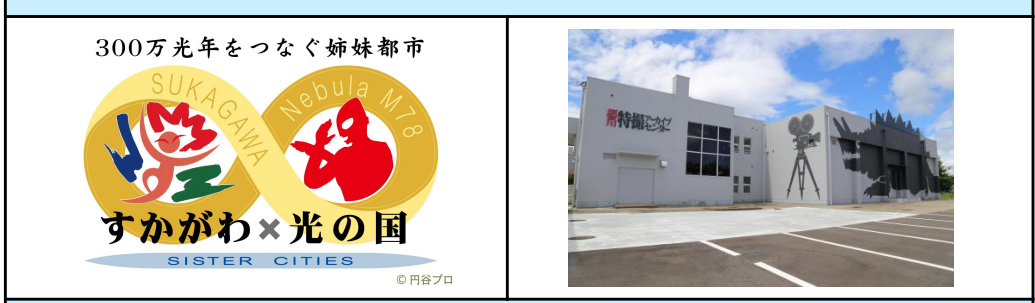
福島県須賀川市
ウルトラマンの生みの親であり「特撮の神様」と称され、今年VES殿堂入りを果たした円谷英二監督の出身地が福島県須賀川市であることに起因し、市とウルトラマンの故郷「M78星雲 光の国」とは姉妹都市提携を締結しており、市内の中心市街地等には、ウルトラヒーロー等のモニュメントが設置され、休日などには、親子連れやファンなど、県内外から多くの方が来訪している。

また、郷土の偉人であり、日本特撮の礎を築いた円谷英二監督の偉業を顕彰するとともに、図書館とも連動する学びの施設として「円谷英二ミュージアム」を市内に有している。さらには、特撮で使用された貴重な資料を収集、保存、修復、調査研究を通じて、「特撮」を日本の誇るべき文化として顕彰、推進し、後世に伝える拠点施設「須賀川特撮アーカイブセンター」では、実際の特撮撮影などで使用された資料を見学することができる。加えて、特撮アーカイブセンターでは、市内の中高生を対象に、特撮のプロたちの指導のもと、撮影技術、ミニチュア制作、映像編集などを学び、参加者全員で一本の短編特撮映画を作り上げることが体験できるワークショップ「すかがわ特撮塾」を実施しており、特撮を通じた人材の育成にも取り組んでいる。

取組体制



図表グラフ・写真



取組概要

- 1 キャラクターIPを活用した須賀川市オリジナルの商品開発
- 2 キャラクターIPを活用したコラボメニューの開発・販売イベント実施
- 3 市内中心部でのウルトラヒーロー等のモニュメント設置
- 4 ウルトラマン・特撮関連ガイドマップ等の製作・配布
- 5 WEB上仮想都市「すかがわ市M78光の町」の展開
- 6 空想の力を育むまちプロジェクトの実施
- 7 「全国自主怪獣映画選手権」の開催
- 8 すかがわ特撮塾の実施
- 9 須賀川特撮アーカイブセンターの運営
- 10 円谷英二ミュージアムの運営

取組の効果


【定性的情報】

- ・「いい部屋ネット 住み続けたい街ランキング2025〈福島県版〉」第2位（4年連続）-大東建託株式会社 賃貸未来研究所実施
- ・市内事業者等において、キャラクターIPを用いた地域活性化の取組を行う団体「M78ウルトラすかがわ応援団」が組織されている。


【定量的情報】

- ・「姉妹都市提携事業における地域経済等効果検証業務」において、本市がウルトラマンで地域振興を行っていることに対する認知度として福島県内が90%以上、県外においても70%程度と高い認知が認められたとともに、県内外共に再来訪意識は80%以上と高い割合を示しており、ウルトラマン関連事業を目的とした観光来訪者数に着目した場合の経済波及効果は約29.1億円と推定された。

地域で連携するコンテンツ
<p>マンガ、アニメ全般 「マンガ・アニメ・トシマ」プロジェクト／豊島区立トキワ荘マンガミュージアム／トキワ荘マンガミュージアムサロン／池袋ハロウィンコスプレフェス／アニメイトガールズフェスティバル／アニメ&まんが聖地EXPO／</p>
取組地域
池袋を中心として豊島区の西エリア（南長崎、長崎、千早、要町、高松）や雑司ヶ谷、南池袋
取組体制
<ul style="list-style-type: none"> ●「マンガ・アニメ・トシマ」プロジェクト実行委員会 豊島区制施行90周年企業実行委員会を継承させ、共創により豊島区をよりよくしていく産官学連携の取組「チームとしま」の参加企業・行政にて組成 豊島区／（一社）アニメツーリズム協会／（公財）としま未来文化財団／マンガ・アニメファンの集まる区内民間施設8社 ●マンガによるまちづくり トキワ荘のまちの賑わい創出 豊島区／（公財）としま未来文化財団／トキワ荘協働プロジェクト協議会／としまマンガランド実行委員会 ●池袋オータムカルチャーフェスティバル実行委員会 池袋ハロウィンコスプレフェス、アニメイトガールズフェスティバル、としまマンガ・アニメフェスタなど秋のイベントを総称し、相互に連携することでより多くの人を呼び込む 豊島区／豊島区商店会連合会／豊島区観光協会／東京商工会議所豊島支部／（公財）としま未来文化財団／各イベント関連の民間企業 ●アニメ&まんが聖地EXPO実行委員会 豊島区／（一社）アニメツーリズム協会／（株）アニメイト

図表グラフ・写真
 <p>スタンプラリー ナイトミュージアム 聖地EXPO</p>
取組概要
<ul style="list-style-type: none"> ●取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・マンガ・アニメ作品と、豊島区産官学連携「チームとしま」の参加企業8社（ファンの集まる民間施設）等と連携したスタンプラリーの実施 ・トキワ荘マンガミュージアムでの年間3回の企画展、七夕企画やナイトミュージアムの実施 ・マンガ・アニメのまちとして各企業と連携した各イベントの実施 ●コンテンツへの貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・トキワ荘マンガミュージアムサロン開設によるゆかりの自治体の情報発信 ・企画展と連動したトークショーによる来館促進とファン交流 ・地域主導のマンガ家とのファンミーティング ●持続可能な仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・官民連携での実行委員会組成によるまちづくりと経済活性の両立 ・トキワ荘関連施設整備基金の寄附金募集と活用、寄附者への還元 ・来館者への利便性の向上（多言語対応、キャッシュレス化） ●国内外への情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・民間との共同出展によるアジア最大級の「台北旅行博」への参加 ・地元ホテル等民間11社による池袋インバウンド推進協力会と連携
取組の効果
<ul style="list-style-type: none"> ・TAAF（東京アニメアワードフェスティバル）の会場として選定 ・日本のアニメ聖地88として2024年、2025年に日本最多となる7か所が認定 ・アニメ&まんが聖地SUMMIT&EXPO（2024年）、アニメ&まんが聖地EXPO（2025年）開催地として選定 ・スタンプラリー参加者、最大4,000名以上を集客

地域で連携するコンテンツ
『ゆるキャン△』 (マンガ、アニメ、映画、実写ドラマ、ゲーム)
取組地域
山梨県峡南地域 (市川三郷町、早川町、 身延町 、南部町、富士川町)
取組体制
<p><実施主体> 山梨県（観光文化・スポーツ部）・身延町（観光課） →事業実施 身延ニューツーリズム協議会・五条ヶ丘活性化推進協議会 →地域活性化につながる取組の実施</p> <p><協力団体等> (公社) やまなし観光推進機構 富士の国やまなしフィルム・コミッション →各種情報発信。コンテンツとイベントに関する事業実施、全体の調整、各種イベント協力・監修補助 株式会社スロウカーブ →コンテンツの宣伝、コンテンツを活用したイベントグッズ開発・販売 有限会社武州屋 →コンテンツを活用したお土産等の開発・販売、地域でのイベント企画・運営 フリーピクチャーズ株式会社 →コンテンツに関する著作権管理、企画の監修</p>

図表グラフ・写真	
	
ゆるキャン△モデル地マップ	JR東海身延線でのラッピング電車
取組概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・劇伴音楽イベント『秘密結社ブランケット音楽祭』を実施し、地元住民とコンテンツとの接点創出。(①) ・各種スタンプラリーの実施と鉄道・宿泊・キャンプ場等連動したキャンペーン実施。(②～④) ・聖地でもある廃校を活用し、ファンも地域住民も楽しめるイベント『本栖高校文化祭』を継続して開催。(⑤) ・キャラクターの誕生日にあわせて、廃校の校庭でのキャンプや体育館での誕生日会を継続して実施。(⑥) 	
取組の効果	
<ul style="list-style-type: none"> ・平均の約2倍の観光消費の実現と、地域のシビックプライド醸成に寄与。(①) ・作品ファンのリピーター化と周遊促進による地域での滞在時間延長・消費拡大。(②～④) ・2022年から継続して開催し、作品ファンが定期的に聖地に訪れる機会を創出、2日間に渡る開催とすることで、観光消費増につなげ地元経済にも貢献。(⑤) ・2018年から継続して開催。作品世界を追体験できる参加型企画として交流人口拡大に寄与しつづけている。(⑥) 	

地域で連携するコンテンツ

- ・作品自体が多治見市を舞台としており、作品では前半をアニメパート、後半を実写パートとして放映している
- ・まちなかの観光核となる『本町オリベストリート』の店舗のいくつかがキャラクターの実家等のモデルになっている
- ・アニメ内で学校へ通う道も実際の風景を模したのものになっている
- ・多治見駅と連携しフォトブースの設置や改札内の音声導入を実施

他多数

取組地域

岐阜県多治見市

取組体制

- ・やくならマグカップも製作委員会
役割：アニメの製作・放映及び公式サイト運営・告知等
構成：日本アニメーション、プラネット(原作)、MAHO FILM、日本コロムビア、CBCテレビ、BS11、TOKYO MX、81プロデュース、CBCラジオ
- ・多治見市
役割：コンテンツを活用した企画の実施・関連する地域事業者とのやり取り
構成：多治見市役所経済部商工観光課 観光グループ
- ・やくならマグカップも活用推進協議会
役割：コンテンツを活用した企画の実施・企画の告知・多治見市事業の事務局的役割・イベント出展
構成：たじみDMO・多治見市・多治見商工会議所 やきもの関連事業者・岐阜県事務所・金融機関 県、市議員
- ・パジーエンターテイメント
役割：告知関係(SNS等)
- ・プラネット
役割：ミュージアムときしろう運営・着ぐるみ運用・イベント出展

図表グラフ・写真





取組概要

- ・全国やきもの甲子園
- ・聖地巡礼スタンプラリー
- ・ふるさと納税返礼品
- ・劇場版「やくならマグカップも」上映会開催
- ・アニメスタッフとめぐる聖地巡礼バスツアーの開催
- ・グルメでやくも♪コレクターリー
- ・多治見市おみやげコンテスト
- ・お出かけMAP「やくもさんぽ」制作
- ・多治見市公式YOUTUBE「多治見こやあこやあ情報局」
- ・「やくならマグカップも」ラッピングバス運行
- ・「やくならマグカップも」豊川姫乃がご案内！ききょうバス オリベ観光ルート
- ・多治見駅125周年に合わせたやくもフォトブースの設置
- ・改札内の音声導入事業

取組の効果

アニメ「やくならマグカップも」をきっかけに、多治見市内の事業者・行政・金融機関・教育機関が、コンテンツを共通言語として連携する土壌が形成された。商店街、交通事業者、学校、陶器メーカー、金融機関など、従来は接点の少なかった主体同士が、やくもを媒介として協働する事例が複数生まれている。

地域で連携するコンテンツ
『エヴァンゲリオン』シリーズ
取組地域
静岡県浜松市
取組体制
<p>2021年度～ 天竜浜名湖鉄道・遠州鉄道</p> <ul style="list-style-type: none"> 『シン・エヴァンゲリオン劇場版』の公開を受け、モデル地となった天竜浜名湖鉄道が遠州鉄道と連携し、スタンプラリー企画を実施 両社の車両のラッピング、駅名変更、コラボグッズの販売、周遊スタンプラリーを実施 2023年には、天竜二俣駅に「ロンギヌスの槍」を設置 <p>2025年度～ 「浜松エヴァンゲリオンを活用した誘客促進実行委員会」</p> <ul style="list-style-type: none"> 浜松市：全体の調整、進捗管理、事業実施（コラボグルメ・グッズ開発、共通乗車券特典サービス等の募集） 天竜浜名湖鉄道：実行委員長、ラッピング列車の運行、共通乗車券発行、グッズ制作・販売 遠州鉄道：スタンプラリー運営、ラッピング列車の運行、共通乗車券発行、デザイン制作、公式HP作成 静岡県：富士山静岡空港でのラッピング事業、国内外の周遊都市でのPR （公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー：事務局、海外向けHPの運営、SNSでの情報発信

図表グラフ・写真
 
取組概要
<ul style="list-style-type: none"> ・天竜二俣駅のシンボル化 転車台ツアー、駅名変更、車両ラッピング、共通乗車券販売 「ロンギヌスの槍」の設置 ・人類乗車計画スタンプラリー キャラクターパネルの設置、キャラクターボイスによるスポット紹介、コンプリート特典の配布 ・エヴァ浜松グルメミッション コラボメニューの提供（20店舗43メニュー）、オリジナルステッカー提供 ・コラボグッズの開発販売 浜松市オリジナルの19社44アイテムの開発販売（販売は市内のみ） ・エヴァンゲリオン初号機立像の設置、天竜材モニュメントの作成 ・関連イベントの開催（アニメジャズコンサート、バイクイベント等） ・広域連携事業（富士山静岡空港、山口県宇部市とのゆかりの地連携）
取組の効果
<ul style="list-style-type: none"> ・国内外からのアニメファンの誘客促進、消費拡大 ・コラボグッズ展開による異業種参入 ・中心市街地尾及び中山間地域の活性化

取組名：聖地沼津×観光推進プロジェクト

応募様式（別紙）
（コンテンツ観光振興型）

地域で連携するコンテンツ

ラブライブ！サンシャイン!! / マンガ・アニメ・ゲーム・音楽
矢寺圭太作「ぽんこつポン子」 / マンガ

取組地域

市内全域（主に静岡・内浦・西浦エリア及び戸田エリア）

「ラブライブ！サンシャイン!!」は、関連映像作品のほぼすべての背景が沼津市内の实在の場所を基に描かれており「Aqours」のメンバー9名は全員が沼津市内在住という設定であり、本市は作品世界の中心として一貫して描かれている。2017年の放送開始当初に内浦を中心に盛り上がりを見せた「ラブライブ！サンシャイン!!」は、2025年6月のライブを最後にAqoursのキャスト9人での定期的なライブ活動を終了したが、その後も地域イベントと連動している。例えば7月の沼津夏まつり・狩野川花火大会ではキャスト3名がゲスト出演し、11月には版權元主催のライブイベントや謎解きが開催された。商店街では装飾やシールラリーが行われ、地元交通事業者によるバス・タクシー・鉄道のラッピングも継続されている。さらにJR東海のコラボキャンペーンや地元飲食店によるコラボメニュー、コラボ商品の開発など、大手企業から地元商店街・個人商店まで幅広いコラボレーションが現在に至るまで行われている。一方『ポンコツポン子』は本市の戸田地区を舞台としており、作品内に戸田地区の風景や地元ネタが頻繁に登場する。現在も戸田観光協会の公式ホームページや戸田の夏祭りポスターでキャラクターが起用されるなど、多くの関わりが続いており、地元住民の認知度も高い。

取組体制

沼津市観光戦略課：全体の調整、進捗管理、事業実施、マッチング、広報等の支援
連携団体等：NPO法人沼津観光協会、戸田観光協会、沼津商工会議所、沼津市商工会、沼津市商店街連盟、地元メディア、観光・交通・宿泊・飲食等事業者、近隣自治体など
株式会社バンダイナムコフィルムワークス：ラブライブ！サンシャイン!!に関する著作権管理、企画の監修（各地域事業者とのやりとり等）

写真



取組概要

本市は「ラブライブ！サンシャイン!!」と「ぽんこつポン子」という2大コンテンツを地域資源と結び付け、Aqoursを「燦々ぬまづ大使」に任命するほか、コンテンツを活用したSNS発信やラッピングバス・タクシー、駅や港でのライトアップ、商店街の装飾などで街全体を聖地としてブランディングした。また、コンテンツを活用した地域観光動画の制作、キャラクターマンホール設置による回遊性の向上の取組、コンテンツ関連イベントとしての物産展開催、フェンシングのまちのPR、戸田地区の観光促進と深海魚ファンの獲得を目的とした缶バッジの作成など、多彩な企画を版權元との許諾管理を徹底しながら官民連携体制のもとで継続的に実施し、コンテンツを活用した観光・移住・産業活性化を図る総合施策を展開している。

取組の効果

「ラブライブ！サンシャイン!!」放送開始後の聖地訪問者は6,500人から84,140人へ急増し、現在も年間2万人超の聖地訪問者が訪れている。コンテンツの関連イベントと同時開催された地元愛物産展の来場者は毎年20,000人を超えており、コンテンツを活用した移住相談会の参加者は3年で100名を超え、市の観光動画は累計視聴数11万回、キャラ誕生日バナーはPV100万回・いいね5万件を達成。交通事業者の行う車両ラッピングは10台以上のバスが市内を走行する様子がSNSで度々話題となっているほか、コンテンツは地域産品やコラボ商品の売上、ふるさと納税に大貢献している。「ぽんこつポン子」はHPやポスターなどで活用され、新規の深海魚ファンの獲得に寄与し、戸田地域の深海魚という魅力を全国にPRする効果的なツールとなっている。

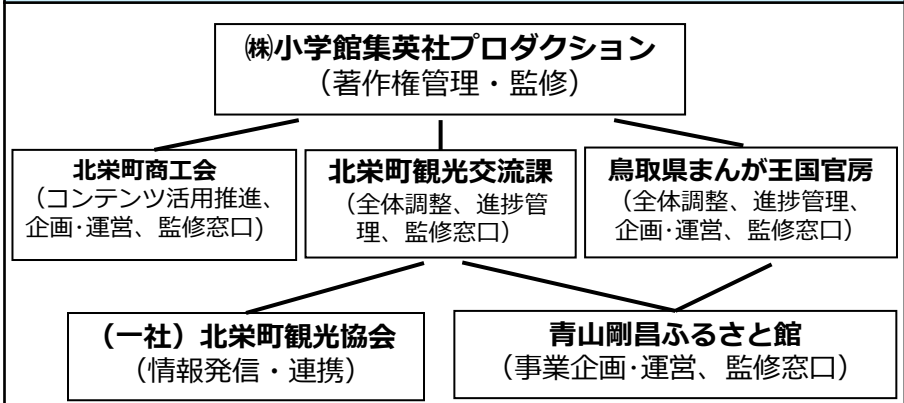
地域で連携するコンテンツ

マンガ
名探偵コナン（1994年刊行）／作者：青山剛昌

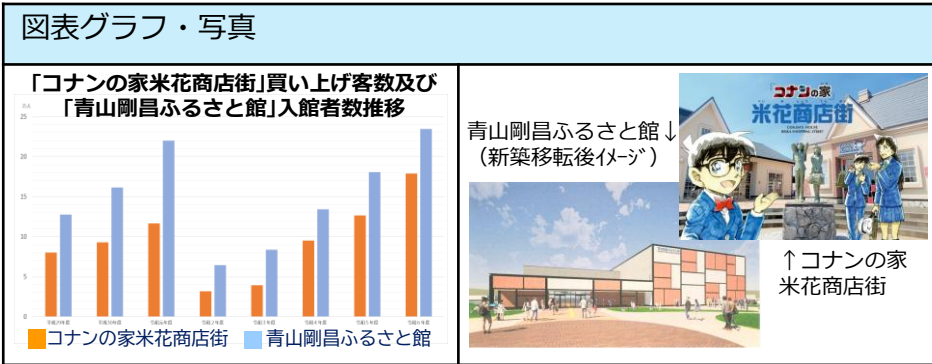
取組地域

鳥取県北栄町
漫画「名探偵コナン」の作者青山剛昌先生の出身地が北栄町である。青山剛昌先生が高校時代までを過ごした。コンテンツに関する施設「青山剛昌ふるさと館、コナンの家 米花商店街、コナン駅、コナン通り」がある。「青山剛昌先生と話そうDAY」というコンテンツに関わるイベントを開催。コンテンツ関連人材育成・確保の取組「マンガ寺子屋」等を実施。

取組体制



- 北栄町商工会：コンテンツを活用した商品開発・販売、飲食の提供の企画・運営。企画の監修窓口
- 北栄町観光交流課：町内全体の調整、進捗管理、企画・運営、企画の監修窓口
- 青山剛昌ふるさと館：事業企画・運営、連絡調整、企画の監修窓口
- 鳥取県まんが王国官房：県内全体の調整・企画・運営、企画の監修窓口
- （一社）北栄町観光協会：情報発信・連携（HP・SNS運用）
- 株式会社小学館集英社プロダクション名探偵コナン事業部：コンテンツに関する著作権管理、企画の監修



取組概要

- ①コナン通り周辺地域への賑わい波及**
コナン通り周辺での起業・創業支援に引き続き注力し、コナン通りの賑わいを地域経済に波及させる。
- ②青山剛昌ふるさと館の新築移転（予定）**
令和9年春に「青山剛昌ふるさと館」を新築移転する。現在より約3倍の規模となり、展示だけでなく青山剛昌先生の貴重な原画の公開、関連資料の収集・展示（コンテンツの保存・継承）を充実させる。
- ③商業集積の規模拡大、宿泊施設の設置（予定）**
継続的な施設のリニューアルや商品・メニュー等の開発により、コナンファンをはじめとする観光客の満足度向上、リピートの向上に努める。宿泊施設の整備をすすめ、北栄町内での滞在時間、及び地元消費を増加させる。
- ④二次交通の利便性向上（予定）**
電動モビリティの導入やグリス口等ITを組み合わせた安全性の高い次世代モビリティの導入を進める。
- ⑤マナー啓発、景観維持対策の実施**
観光客の満足度向上、地元住民の理解促進のため継続的なゴミ拾いやオブジェの清掃活動やマナー啓発活動を行っている。

取組の効果

- ・「青山剛昌ふるさと館」は、令和9年春の新築移転により、安心・安全な展示・保管が可能になり、コナンファンにとって広いスペースで展示を鑑賞できるようになりコナンファンの聖地としてより一層の評価が高まる。
- ・「コナンの家 米花商店街」は、漫画「名探偵コナン」に登場する米花町の世界観を表現した施設として、名探偵コナンと地元産品がコラボしたオリジナルグッズや飲食メニューはファンから高い評価をいただいている。
- ・コナン駅から青山剛昌ふるさと館までの約1.4kmの「コナン通り」に多くのオブジェなどが整備され、通りを歩く観光客は年々増加、周辺の史跡や体験施設など地域の魅力を発信することで周遊・賑わいに繋がっている。

地域で連携するコンテンツ

TVアニメ『からかい上手の高木さん』を活用したまちづくり

取組地域

香川県土庄町

取組体制

本事業は、土庄町商工観光課を主体として、TVアニメ『からかい上手の高木さん』を観光資源として活用し、年間を通じた誘客施策および夏季イベントを中心とした地域活性化を目的に実施しています。

土庄町商工観光課は、事業全体の統括として、予算確保、施策企画、事業実施および地域事業者への支援を担う。施策内容としては、土庄港における「とのしょうBASE」の設置、アートノショーターミナルでのキャラクタースタンディ設置、公共交通とのコラボレーション、舞台探訪マップの作成、地元名産品と連携したコラボ土産商品の開発、ラッピングマンホールの設置等を実施しています。

また、一般社団法人アニメツーリズム協会は、作品の権利元との交渉や施策企画に関する助言、事業実施への協力、ならびに地域事業者に対する商品化説明を担い、コンテンツ活用の専門的知見を提供しています。

株式会社小学館集英社プロダクションは、商品化、販促窓口として企画の許諾および監修を行い、コンテンツの適正な活用を支えています。Setouchiとのしょう（旧とのしょう観光協会）は、地域商品開発およびSNS等を活用した情報発信を担い、観光誘客の拡大を図っています。小豆島まつり振興会は、地元の祭である「小豆島まつり」とのコラボレーション施策において、夏季イベントの開催協力を行い、誘客施策の実施を支援しています。さらに、土庄港観光センター、小豆島フェリー、小豆島交通、株式会社パオ・フィールをはじめとする町内民間事業者は、コンテンツを活用したお土産品や旅行プラン等の企画・開発・販売を行い、スタンプラリー、重ね捺しスタンプラリー、謎解き等の施策に参画しています。併せて、これらの施策に向けた民間事業者向けセミナーを実施し、地域全体での取組体制を構築しています。

図表グラフ・写真



取組概要

- 『からかい上手の高木さん』の情報発信拠点「とのしょうBASE」の設置
- 『からかい上手の高木さん』を活用したコラボポスター
- 公共交通とのコラボ（ラッピングタクシー、ラッピングフェリーとのコラボ）
- 地域名産品の土産商品とのコラボ開発
- 「小豆島まつり」でのコラボと夏の誘客コラボ施策
- 大阪・関西万博における「クールジャパンショーケース/アニメ・マンガツーリズムフェスティバル」に出展
- 「重ね捺しスタンプラリー」や謎解き企画「西片クエスト」を実施、土庄町に訪れるような企画を実施しています。

（この欄は上記の取組概要を補完する内容が記載されていません）

取組の効果

- 2020年版「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に認定されて以来、土庄町は5年連続で認定
- 地元事業者や企業と連携し、オリジナルコラボ商品を開発することで、地域に新たな「稼ぐ力」が生まれ、地域経済の活性化に繋がっています。

地域で連携するコンテンツ

コンテンツのジャンル：マンガとアニメ

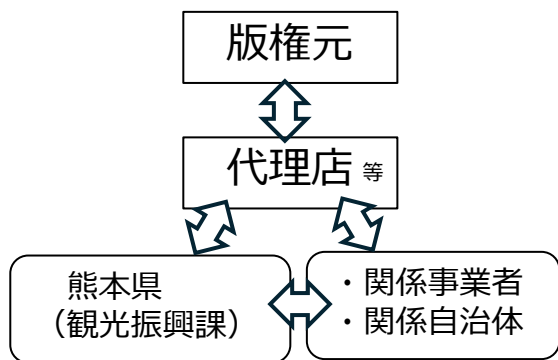
コンテンツ名：

- ①作者が本県ゆかりのコンテンツ：尾田栄一郎作『ONE PIECE』（1997年連載開始）/マンガ
- ②本県が舞台又はモデル地のコンテンツ：緑川ゆき原作「夏目友人帳」（2008年放送開始）/アニメ、臼井儀人原作「クレヨンしんちゃん」（1990年連載開始、1992年放送開始）/マンガ・アニメ

取組地域

- ①銅像設置9市町村を中心とした県内全域
『ONE PIECE』作者、尾田栄一郎氏が熊本県出身。熊本地震の被災地域のうち9市町村に麦わらの一味の銅像10体を設置。
- ②人吉・球磨地域を中心とした県内全域：アニメ「夏目友人帳」のモデル地。
阿蘇市を中心とした県内全域：「クレヨンしんちゃん」の主人公しんのすけの母・みさえが阿蘇市出身。

取組体制



熊本県観光振興課：事業実施、全体の調整、進捗管理
 著作権元：著作権管理、企画の監修
 代理店等（※代理店のないコンテンツもあり。）
 ：著作権調整、企画提案、情報発信（HP・SNS運用）
 関係自治体：事業実施、関係地域における調整

図表グラフ・写真



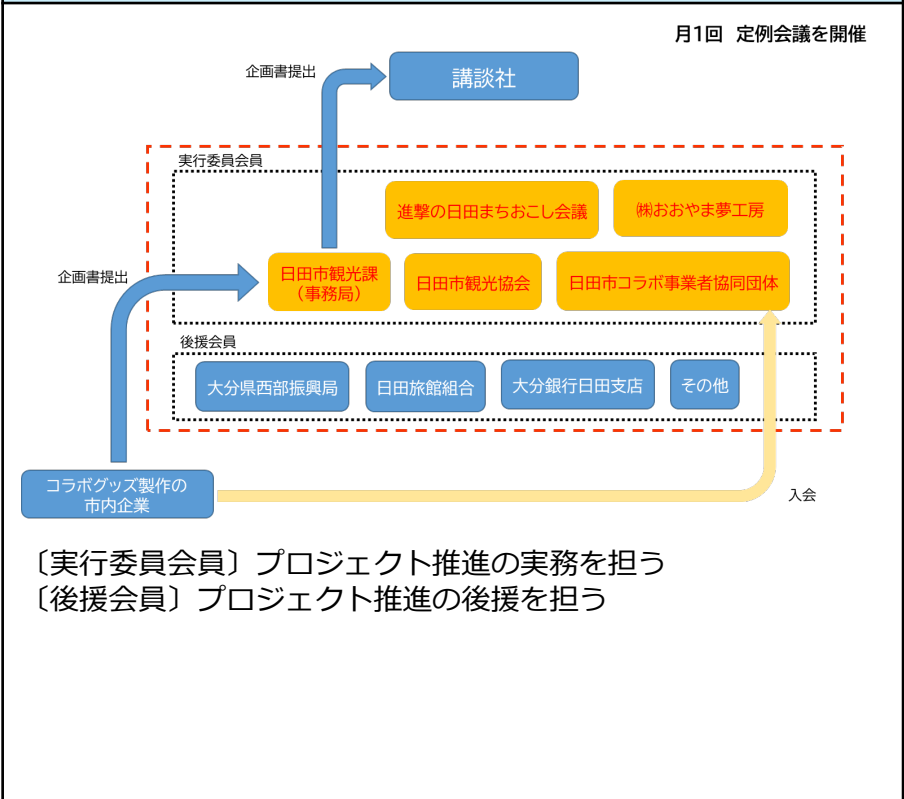
取組概要

- ①ONE PIECE熊本復興プロジェクト
マンガ『ONE PIECE』と連携し、麦わらの一味の銅像を起点とした周遊プロモーション及び地域資源とコラボレーションした企画の実施。
- ②「マンガ県くまもと」構想推進事業
国内外からの誘客を主眼とし、本県のゆかりの作品と連携した観光コンテンツの造成・充実化に取り組む。主なコンテンツは以下のとおり。
 【夏目友人帳】
 アニメのモデル地である人吉・球磨地域においてタクシーブランの運行やデジタルスタンプラリーアプリの配信、アニメ15周年記念事業など、地元自治体や民間事業者等と連携した取り組みを実施。
 【クレヨンしんちゃん】
 令和4年にしんちゃんゆかりの3県（秋田県、埼玉県、熊本県）と著作権元である双葉社と「家族都市協定」を締結し、しんちゃんの観光パンフレットやFRP像の製作等、3県で連携した観光プロモーション等の取り組みを実施。

取組の効果

- 定性的効果
 - ①集英社発行の週刊少年ジャンプやワンピースマガジンに県の取組みが多数掲載。
 - ②【夏目友人帳】「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」2025年に初選定。
【しんちゃん】くまモンアニメ化（令和7年4月26日放送。）
- 定量的効果
 - ①県内市町村における銅像設置前後の外国人旅行者の滞在増加率ランキングにて銅像設置市町村が上位を独占。1位宇土市（ジンベエ像）7.33倍、2位益城町（サンジ像）6.75倍、3位高森町（フランキー像）4.25倍…（※R6発表ナビタイムジャパンによる調査）
 - ②【夏目友人帳】アプリ総ダウンロード数 30,092件（R7.10時点）
【しんちゃん】地元企業とのコラボ商品（R7.12月時点で県内8企業、商品数10点以上）

地域で連携するコンテンツ
マンガ『進撃の巨人』
取組地域
大分県日田市（原作者の出身地）
取組体制



取組概要

○市内2箇所に登場キャラクターの銅像を設置
 大山ダムに「進撃の巨人 エレン・ミカサ・アルミンの少年期の銅像」、日田駅南広場に「進撃の巨人 リヴァイ兵士長像」を設置

○コラボグッズ、メニュー等の開発・販売
 地元企業によるコラボグッズやコラボメニュー、コラボ宿泊プラン等の開発と販売

○市内でのイベント開催
 大山ダム下流広場や日田駅前に設置した銅像を来場者と一緒に磨き上げるイベントを毎年同時期に開催

○都市部でのイベント開催
 都市部のキャラクターショップやアニメ・マンガイベントにおいて、コラボグッズと地場製品の販売や、市内にある『進撃の巨人』関連スポット、観光スポットを紹介

○市内回遊企画の実施
 ゲームアプリへのAR撮影、デジタルスタンプラリー、電子クーポン機能の追加や、『進撃の巨人』デザインのラッピングレンタサイクル、紙冊子（有料）のスタンプラリーの導入

○おもてなし意識の向上
 市内事業者向けセミナーの開催や、進撃の日田の観光や商品についての案内を行う「進撃の日田コンシェルジュスポット」を設置

- ### 取組の効果
- ・ CJPFアワード2025・プロジェクト部門
 - ・ 講談社メディアアワード2022
 - ・ 地元の高校生が課題探求として、『進撃の巨人』を活用した地域活性化をテーマに取り上げることが増えた
 - ・ 市内への経済効果は3年間で推計約55億円